

Title	山蔭昭子教授研究業績一覧
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2013, 40, p. 11-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/50771
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



山 蔭 昭 子 教 授

山蔭昭子教授研究業績一覧

著書（共著）

- ・『『精霊たちの家』の女たち』『女たちの世界文学』（1991 松香堂）
- ・「文学に見るラテンアメリカの女たち』『地球の女たち——女から女へ、女を語る』（1996 嵯峨野書院）
- ・「ティタの生き方——『赤い薔薇ソースの伝説』から』『地球の女たち2』（2001 嵯峨野書院）
- ・『メキシコの女たちの声——メキシコ・フェミニズム運動資料集』（2002 行路社）
- ・「イサベル・アジェンデ——現代のシェーラザード』『ラテンアメリカの女性群像』（2003 行路社）

論文（単著）

- ・『『百年の孤独』における時間の扱い』『ラテンアメリカ文学研究』No. 5（1975 イタリア書房）
- ・「スペイン語国民に対する日本語教育の問題点』『日本語・日本文化』第5号（1977 大阪外国語大学留学生別科）
- ・「〈見える〉とそのスペイン語訳——『坊っちゃん』『砂の女』を通じて』『日本語・日本文化』第8号（1978 大阪外国語大学留学生別科）
- ・「格表現の対照研究——スペイン語との対照——日本語教育のために』『日本語・日本文化』第9号（1980 大阪外国語大学留学生別科）
- ・「ガルシア・マルケスと『百年の孤独』』『人文論集』第16巻 第1・2号（1980 神戸商科大学）
- ・「ガルシア・マルケスの初期短編——短編集『青犬の目』を中心に——』『人文論集』第18巻 第1・2号（1982 神戸商科大学）
- ・「『ペドロ・パラモ』の世界』『外国語・外国文学研究』第6号（1982 大阪

外国語大学大学院修士会)

- ・「ラテンアメリカの文学——小説を中心に——」『日本の科学者』Vol. 20 No. 3 (1985 水曜社)
- ・“A Brief Introduction to Chicano Novels” Publication of the Proceeding from the Kyoto American Studies Summer Seminar 1997 (1997 立命館大学アメリカ研究センター)
- ・「文学を通して見るラテンアメリカの女性——『精霊たちの家』の登場人物から」『女性学評論』第15号 (2001 神戸女学院大学女性学インスティテュート)

論文 (共著)

- ・「チリにおける女性の政治参加と社会運動——チリ調査報告書」『社会科学』第70号 (2003 同志社大学人文科学研究所)

書評論文

- ・「M. バルガス・リョサ著 杉山晃訳『都会と犬ども』新潮社刊について」『ラテンアメリカ研究年報』No. 8 (1988 日本ラテンアメリカ学会)

翻訳書 (共著)

- ・G.A. ベッケル『スペイン伝奇作品集』(1977 創土社) (「髑髏のキリスト」「モーロ娘の洞窟」を担当)
- ・『世界短編名作選 ラテンアメリカ編』(1978 新日本出版社) (ガルシア・マルケス「この村に泥棒はいない」カルロス・フエンテス「チャック・モール」を担当)
- ・『世界短編名作選 スペイン編』(1978 新日本出版社) (カルメン・ラフォレット「帰宅・ロサムンダ」アナ・マリア・マトゥーテ「友だち」を担当)
- ・ガルシア・マルケス『ガルシア＝マルケス全短編集』(短編集『青犬の目』の翻訳および「作品解題」を担当) (1983 創土社)

翻訳

- ・ロアニバストス「イメージの変容——展開するラテンアメリカ小説——」『ラテンアメリカ文学案内』（1984 冬樹社）
- ・ガルシア・マルケス「闘う聖職者」『ユリイカ』八月号（1988 青土社）
- ・マルタ・ブルネー「不在の十字路」『グリオ』Vol. 2（1991 平凡社）

論説

- ・“Literatura hispanoamericana en Japón” *ABEJA* La Asociación chilena de Exbecarios en Japón (1992)
- ・「チリ雑感」『淡水』39号（1993 神戸商科大学同窓会）
- ・「海外レポート チリ 1991～92」『グリオ』Vol. 5（1993 平凡社）
- ・「台所文学——レシピ小説——」『アルスール』第2号（1994 ラテンアメリカ交流グループ）
- ・「イサベル・アジェンデ」『季刊 女も男も』2000年冬号 No. 82（2000 労働教育センター）

研究発表

- ・「70年代以降のメキシコにおけるフェミニズム運動と女性作家たち」、パネル「メキシコにおけるフェミニズムの展開」（日本ラテンアメリカ学会第23回定期大会）（2002 慶應義塾大学）
- ・“Construcción de la imagen femenina frente al poder patriarcal en las narrativas de Isabel Allende y Fumiko Enchi. Ensayo comparativo entre Chile y Japón.” En Congreso Internacional de Género, Universidad Nacional de Salta, Salta, Argentina 24-27 de julio de 2003.（「イサベル・アジェンデと円地文子の作品における家父長的権力に対峙する女性像の構築。チリと日本との比較の試み」）（国際ジェンダー学会）（2003 サルタ大学）
- ・“La cultura dentro de la enseñanza de lenguas extranjeras—El caso del idioma japonés—”（「外国語教育における文化の扱い」）（チリ高等教育外国語教師学会（SONAPLES）第17回大会）（2011 サンティアゴ大学）

教材 (単著)

- ・『初級基本語彙〈スペイン語版〉』(1997 大阪外国語大学留学生日本語教育センター)

教材 (共著)

- ・“*JAPONÉS DE HOY*” (1976 大阪外国語大学留学生別科)
- ・“*Curso de Japonés—Pronunciación y Diálogos—*” (1984 大阪外国語大学留学生別科)
- ・『初級基本文型・語彙問題集』(2003 大阪外国語大学留学生日本語教育センター)

辞典項目

- ・小学館『西和辞典』ラテンアメリカ語項目 (1990 小学館)